

米子自衛防火協会 平成22年3月 第58号

# 会報

米子自衛防火協会事務局  
米子市両三柳 5452 番地  
鳥取県西部広域行政管理組合消防局予防課内  
TEL0859-35-1954

印刷所 東京印刷株式会社

春の全国火災予防運動 3/1~3/7

消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子



備えよう! 住宅用火災警報器

総務省消防庁 全国消防長会 日本防火・危機管理促進協会  
URL <http://www.boukakiki.or.jp>  
宝くじの収益金は、身近な街づくりに役だっています。

## 春の火災予防運動

3月1日から3月7日まで

「消えるまで ゆっくり火の元 ならめっ子」

(全国統一防火標語)

【全国一斉重点目標】

- ① 住宅防火対策の推進
- ② 放火火災・連続放火火災防止対策の推進
- ③ 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底
- ④ 製品火災の発生防止に向けた取組の推進
- ⑤ 林野火災予防対策の推進

【西部消防局重点目標】

- ① 住宅用火災警報器の早期設置の促進
- ② 特定防火対象物等における防火安全対策の徹底

【西部消防局実施概要】

- ① 住宅用火災警報器の早期設置の促進
  - ・ 住宅訪問及びアンケート調査
  - ・ 各種イベントや自治会等の集會機会を捉えた設置促進活動
- ② 特定防火対象物等の重点立入検査
- ③ 各種消防演習
- ④ 防火広報
  - ・ 防火パレード
  - ・ 消防車両による防火広報
  - ・ 防災無線・広報誌による広報
- ⑤ 防火講話
  - ・ 保育園児を対象とした防災教育
- ⑥ その他
  - ・ 各種訓練・防火指導

# 会務中間報告

## 〈新年役員会を開催〉

去る1月27日皆生グラウンドホテル天水において、米子自衛防火協会並びに米子市危険物保安協会合同の新年役員会が開催されました。

その会議の席上で報告された、平成21年4月から12月までの会務中間報告の内容は次のとおりです。

1. 調査研究の部  
先進地視察研修  
コスモ石油四日市製油所(13名参加)
2. 研修の部  
新規採用職員防災研修会(89名参加)
3. 会報発刊の部  
第57号作成配布(7月)
4. 防火思想普及の部  
秋季火災予防週間の広報チラシ作成  
防災ビデオ・DVDの貸し出し
5. 防火協力の部  
住宅防火対策推進シンポジウム
6. 会議の部  
定期総会、役員会
7. その他  
各種講習会の図書幹旋  
甲種防火管理新規講習(220名参加)  
防火管理再講習(32名参加)  
自衛消防業務追加講習(69名参加)

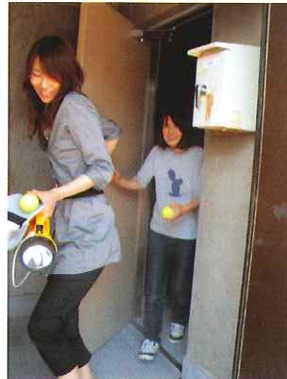
## ●●新規採用職員防災研修会●●

平成21年6月26日、消防局に於いて協会会員対象の防災研修会を開催致しました。

この研修会は、事業所の新規採用者を対象に毎年開催しておりますが、今年は不況の影響か十数年ぶりに100名を下回る参加となりました。

今年の実技研修では、新しく規律訓練を取り入れました。初めは恥ずかしいのか、番号を言うのも小さな声でしたが、幾度かしているうちに若者らしい元気な滲刺とした声に変わってきました。

また、煙体験においても、ただ暗い煙の迷路を歩くだけでなく、行き止まりに設置したボールを取って戻るという、ゲーム感覚を取り入れた楽しい研修を試みました。



煙体験



規律訓練



屋内消火栓

## 先進地視察研修

平成21年12月3日～4日の二日間、三重県四日市市にある「コスモ石油株式会社四日市製油所」の視察研修を開催しました。

視察先の四日市製油所は、エネルギー供給拠点として、またコスモ石油で唯一の潤滑油の生産拠点として活躍している事業所です。

当日はあいにくの天候でしたが、専用バスに乗り100万㎡以上ある広い製油所の端から端まで案内していただき、初めて見る製油装置やタンク、配管など、すべてが大きくて圧倒されました。

その他にも、社内の環境への取組みや防災体制及び中京地区における共同防災組織についてのお話も伺うことができ、大変有意義な研修となりました。



## 消防防災DVDを購入

- いのちを守る 福祉施設火災の初期対応
- 職場を守る 防火管理
- 職場の中の消防設備

## 新会員の紹介

湯快リゾート(株) かいけ彩朝榮  
 サントリー天然水(株) 奥大山ブナの森工場  
 ホテルアジェンダ  
 (米子市ホテル旅館組合)  
 ホテルアクシス  
 (米子市ホテル旅館組合)  
 米子ワシントンホテル  
 (米子市ホテル旅館組合)

# 平成21年中の西部消防局における災害の概況

## 1. 火災概況

平成21年中の火災件数は100件で、前年に比べ3件少なく、4年連続の減少となっています。また、損害額についても、前年に比べ大幅に減少しています。これは、前年に比べ建物火災、車両火災が減少したことによるものです。

死者は2人で前年に比べ5人減少していますが、負傷者は15人で前年に比べ6人増加しています。このうち65歳以上の高齢者は9人で全体の半数以上を占めていました。また、消火中に受傷したものが8人でした。

火災原因については、相変わらず「放火(疑いを含む)」が21件と最も多く、以下は表の順となっています。

火災の状況			火災の原因					
	平成21年	平成20年	平成21年		平成20年			
火災件数(件)	100	103	第1位	放火・放火疑い	21件	第1位	放火・放火疑い	19件
建物火災	54	61	第2位	たき火	10件	第2位	こんろ	10件
林野火災	4	3	//	火入れ	10件	//	たき火	10件
車両火災	8	14	第4位	こんろ	7件	第4位	火あそび	8件
その他火災	34	25	第5位	ストーブ	6件	第5位	たばこ	4件
損害額(千円)	190,100	587,798				//	配線器具	4件
死者(人)	2	7						
負傷者(人)	15	9						

## 2. 救急・救助概況

救急出動件数は8,421件(前年より68件減)、救急搬送人数は7,923人(同51人減)で3年連続の減少となっています。

一方、救助出動件数は170件(前年より7件増)、救助活動件数は129件(同3件増)、救助人員は97人(同16人の増)でいずれも昨年より増加しています。

事故種別ごとの件数では、救急出動は急病が半数以上を占め、救助出動は交通事故がほぼ半数を占めています。(グラフ参照)

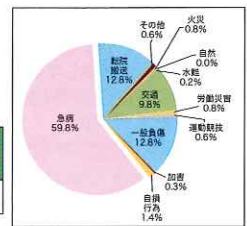
また、年齢別の救急搬送人数は、65歳以上の高齢者が4,515人(全体の57%)で、全搬送人数に占める割合が年々増加しています。今後、少子高齢化の進展に伴い更に割合が増加することが予測されます。

事故種別救急出動状況

事故種別	火災	自然	水難	交通	労働災害	運動競技
出動件数	70	0	16	826	66	54

一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	計
1,080	27	121	5,032	1,081	48	8,421

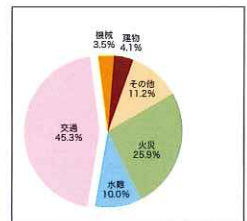


事故種別救助出動状況

事故種別	火災	水難	交通	風災害
出動件数	44	17	77	0

機械	建物	ガス	破裂	その他	計
6	7	0	0	19	170



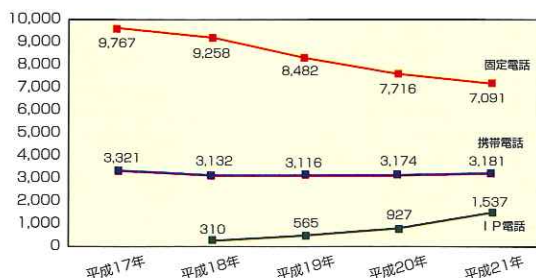
## 3. 119着信状況

平成21年中の119番通報は、総着信件数11,809件で、1ヶ月平均では約984件、1日平均では約33件の着信となります。通報内容としては、救急通報が最も多く8,126件、火災通報は193件でした。

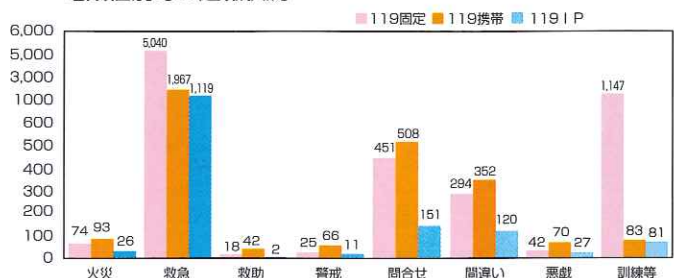
また、平成17年7月よりIP電話からの119番通報ができるようになり、21年は全通報件数の13%を占め前年比66%増と急増傾向にあります。携帯電話からの119番通報は、全着信件数の27%でした。

携帯電話からの通報時に、発信された位置情報を取り込む「携帯電話の位置情報通知システム」を導入しています。今後、GPS機能付き携帯電話の普及に伴い、その機能が更に発揮されるものと考えています。

電話種別による119番着信件数の推移



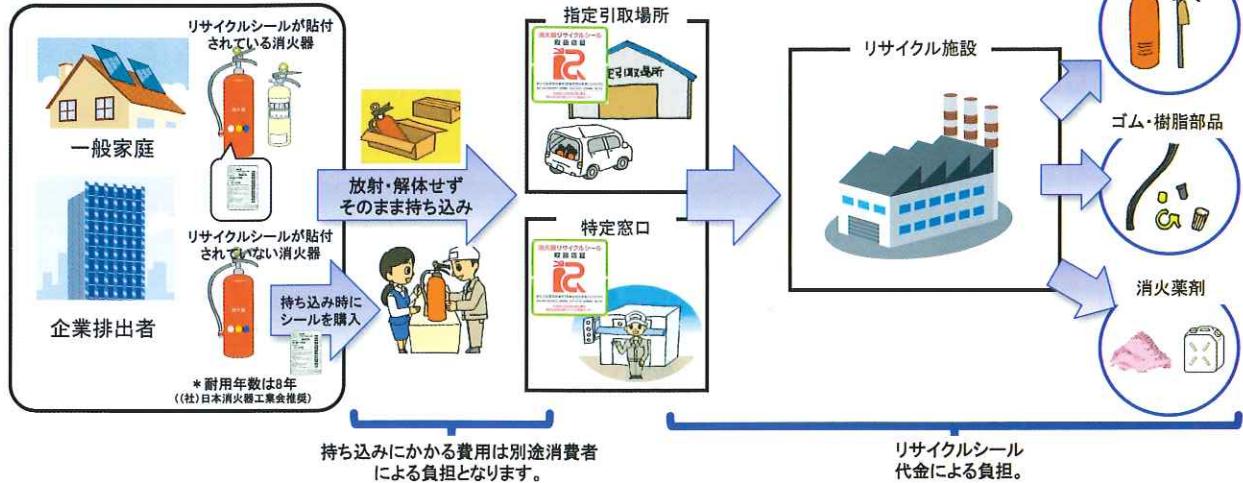
電話種別毎の通報状況



# 廃消火器リサイクルシステム

(平成22年1月1日スタート)

## 消火器のリサイクルシステムの概要



## 注意点

- ・リサイクルシールが貼付された消火器が回収対象です。
- ・リサイクルシールが貼付されていないものは、「リサイクルシール取扱店」で購入し、貼付してください。
- ・廃消火器は、指定引取場所等へ放射・解体せず持ち込んでください。(底部が腐食しているものは、破裂の危険もあります。)
- ・指定引取場所等は、「リサイクルシール取扱店証」の表示がされているので確認してください。
- ・全国の指定引き取り場所等は、(社)日本消火器工業会 (<http://www.jfema.or.jp>) のリストを参照ください。

## リサイクルシステムで回収される消火器



消火器及び住宅用消火器

### < 備考 >

エアゾール式簡易式消火器は、廃棄物処理法上の広域認定の対象品目に該当しないため、本リサイクルシステムにおいてお取扱いできません。一般のスプレー缶と同様な廃棄をお願いします。

エアゾール式簡易消火器

### 大切な家族を守るために 住宅用火災警報器を取り付けましょう

大事な家族を守るために 住宅用火災警報器を取り付けましょう

おん家はもう付けた！

**火災は早期発見が大切**

火災は気づかずに燃え広がる危険があります。住宅用火災警報器は火災の発生を早期に発見し、火災の拡大を防ぐために有効です。

**住宅用火災警報器は取付カンタン**

住宅用火災警報器は、天井や壁面に簡単に取り付け可能です。取付方法は、おん家のホームページをご覧ください。

**高齢者を守る**

高齢者が住んでいるご家庭には、火災の発生を早期に発見し、火災の拡大を防ぐために有効です。おん家のホームページをご覧ください。

消防法により、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務化されています。(既存住宅では条例により平成23年6月までに全市町村で義務化になります。)

財団法人 日本防火・危機管理促進協会

### 平成22年度 講習会・試験情報

**【甲種防火管理新規講習】**

第1回	平成22年5月26日(水) ~ 27日(木)	受付期間	5月7日 ~ 5月20日
第2回	平成22年9月15日(水) ~ 16日(木)	受付期間	8月23日 ~ 9月10日
第3回	平成22年11月24日(水) ~ 25日(木)	受付期間	11月2日 ~ 11月18日
第4回	平成23年3月16日(水) ~ 17日(木)	受付期間	2月22日 ~ 3月10日

【甲種防火管理再講習】

平成22年7月14日(水)

【消防設備士試験】

平成22年8月1日(日)

### 【危険物取扱者試験】

受付期間	6月7日 ~ 6月23日
第1回	平成22年6月20日(日)
受付期間	4月19日 ~ 5月6日
第2回	平成22年10月31日(日)
受付期間	9月6日 ~ 9月22日
第3回	平成23年1月30日(日)
受付期間	11月25日 ~ 12月9日

### 会費納入のお願い

本年度も残りわずかになりました。会費未納事業所の方は、早急に納入していただきますようお願いいたします。

なお、ご不明な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

電話(0859)3511954